

Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイント

一般的な質問

Q. Cisco® Aironet® 1250 シリーズ アクセス ポイントとは何ですか。

- A. Cisco® Aironet® 1250 シリーズ アクセス ポイントは、IEEE 802.11n 標準に基づいた業界初のビジネスクラス アクセス ポイントです。2.4 GHz と 5 GHz の IEEE 802.11n 無線モジュールを選択できるモジュラ デュアル無線帯域アクセス ポイントとして、信頼性が高く予測可能なワイヤレス LAN (WLAN) カバレッジを提供し、既存の 802.11a/b/g クライアントと新規の 802.11n クライアントの両方のエンド ユーザ環境を改善します。無線モジュールは、最も厳しい帯域幅要件を満たすために、最大 300 Mbps の複合データ レートを提供します。ユーザはワイヤレス ネットワークを利用して有線ネットワークと同じような環境を実現でき、場所を問わず高帯域幅のデータ、音声、およびビデオの各アプリケーションへのモバイル アクセスが可能になります。

Cisco Aironet 1250 シリーズは堅牢な屋内アクセス ポイントで、オフィスだけでなく、工場、倉庫、大規模小売店舗など、付け替え可能な多種類のアンテナ、堅牢な金属製エンクロージャ、幅広い動作温度といった厳しい要件を持つ RF 環境向けに設計されています。現在、プラットフォームには IEEE 802.11n 標準に準拠した 2.4 GHz と 5 GHz のモジュールが用意されています。MIMO テクノロジーは、無線ごとに最大 300 Mbps のデータ レートを実現し、無線経路の音声やビデオのような、帯域幅を大量に消費するアプリケーション、過酷な RF 環境、および遅延に影響されやすいアプリケーションの信頼性を向上させることで、無線のパフォーマンスを向上させます。Cisco Aironet 1250 シリーズ プラットフォームのモジュラ性により、投資が保護され、将来のテクノロジー（承認された最終的な 802.11n 標準など）に簡単な方法で準拠できます。テクノロジーの進歩に合わせて、プラットフォームはインテリジェントな RF サービスを提供するように設計された将来の無線モジュールを柔軟にサポートでき、ワイヤレス ネットワークのパフォーマンスと信頼性をさらに向上させることができます。

Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、Cisco WLAN 製品ファミリにどのように適合していますか。

- A. Cisco Aironet 1250 シリーズは [Cisco Unified Wireless Network](#) のコンポーネントで、スタンドアロン (Autonomous) または統合 (Lightweight) モードで展開できます。Cisco Wireless LAN Controller および Cisco Wireless Control System (WCS) 管理ソリューションとともに Lightweight モードで展開した場合のみ、シスコの統合ワイヤレス機能とモビリティ サービスをすべて利用できます。統合フィーチャ セットは、業界で最も包括的な機能セットで、ゲスト アクセス、無線の侵入検知と侵入防御、音声対応サービス、スケーラブルなレイヤ 3 モビリティ、ロケーション サービスなどがあります。Lightweight Access Point Protocol (LWAPP) を使用して設定した場合、Cisco Aironet 1250 シリーズは最適な Cisco Wireless LAN Controller を自動的に検出し、ユーザが手動で介入しなくても適切なポリシーと構成情報をダウンロードできます。スタンドアロン モードで展開されたアクセス ポイントは、企業での基本的な展開に適した機能の一部を提供します。スタンドアロン モードで展開されたアクセス ポイントは、あとで Lightweight モードにフィールド アップグレードできるため、お客様は統合機能の完全なセットにスムーズに移行できます。

Q. Cisco Aironet 1250 シリーズの主な利点は何ですか。

A. Cisco Aironet 1250 シリーズの利点は次のとおりです。

投資保護: Cisco Aironet 1250 シリーズはモジュラ型のアップグレード可能なプラットフォームで、現在は 802.11n 標準をサポートしています。プラットフォームのモジュール性により、最終的な 802.11n 標準など、新しい高性能のワイヤレス テクノロジーもスムーズにサポートできます。

堅牢性と柔軟性: Cisco Aironet 1250 シリーズは堅牢な屋内アクセス ポイントで、工場、倉庫、大規模小売店舗など、付け替え可能な多種類のアンテナ、堅牢な金属製エンクロージャ、幅広い動作温度、プレナム定格といった厳しい要件を持つ RF 環境で使用できます。

エンタープライズクラスのセキュリティ: Cisco Secure Wireless ソリューションは、ワイヤレス セキュリティに対する総合的なアプローチを提供し、シスコのワイヤレス セキュリティ ソリューションがサポートする企業の機密情報の整合性を保証します。

- 802.11i、Wi-Fi Protected Access (WPA)、WPA2、さまざまな Extensible Authentication Protocol (EAP) タイプのサポートなど、標準ベースの認証と暗号化。これらの認定規格は、IEEE 802.1X によるユーザ ベース認証、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) による WPA 暗号化、および Advanced Encryption Standard (AES) による WPA2 暗号化をサポートします。
- Cisco Secure Wireless ソリューションとの統合により、業界初の有線と無線を統合したセキュリティ ソリューションを実現
- 業界をリードするワイヤレス Intrusion Prevention System (IPS; 侵入防御システム):
 - 不正なアクセス ポイントを検出して抑制
 - 高度な受動/能動型の WLAN 攻撃を緩和
 - Day Zero 侵入検知のための Management Frame Protection (MFP; 管理フレーム保護) をサポート

管理と展開の柔軟性: Cisco Aironet シリーズ アクセス ポイントは Cisco Unified Wireless Network の主要コンポーネントで、統合されたエンドツーエンドの有線および無線ネットワークを提供する包括的なソリューションです。アクセス ポイントは、Cisco Unified Wireless Network の無線およびネットワークの管理機能を活用して展開を簡素化し、有線ネットワークと同様のセキュリティ、スケーラビリティ、信頼性、および展開と管理の容易さをワイヤレス LAN に提供します。

Q. Cisco Aironet 1250 シリーズと Cisco Aironet 1240AG シリーズの主な類似点は何ですか。

A. どちらのシリーズも、工場、倉庫、大規模小売店舗など、付け替え可能な多種類のアンテナ、堅牢な金属製エンクロージャ、幅広い動作温度といった厳しい要件を持つ RF 環境向けに設計されています。

Q. Cisco Aironet 1250 シリーズと Cisco Aironet 1240AG シリーズの主な相違点は何ですか。

A. Cisco Aironet 1250 シリーズは、IEEE 802.11n 標準をサポートするように設計された唯一のシスコ アクセス ポイントです。10/100/1000 イーサネットをサポートし、MIMO および 802.11n の電力、スループット、および機器要件をサポートする目的で設計されました。Cisco Aironet 1250 シリーズは、2.4 GHz と 5 GHz の IEEE 802.11n 無線モジュールを選択できるモジュラ デュアル無線帯域アクセス ポイントです。プラットフォームのモジュール性により、最終的な 802.11n 標準など、新しいハイ パフォーマンス ワイヤレス テクノロジーもスムーズにサポートできます。Cisco Aironet 1240AG シリーズは固定構成のアクセス ポイントであり、

802.11a/b/g 無線をアップグレードして、802.11n 標準をサポートすることはできません。Cisco 1250 シリーズは 32 MB のフラッシュと 64 MB の DRAM をサポートし、Cisco Aironet 1240AG シリーズは 16 MB のフラッシュと 32 MB の DRAM をサポートします。

- Q. **Cisco Aironet 1250 シリーズの導入により、Cisco Aironet 1240AG シリーズは販売終了になりますか。**
- A. いいえ。Cisco 1240 シリーズは、IEEE 802.11n 標準のサポートが不要なお客様に、低コストの堅牢な屋内 802.11a/b/g アクセス ポイントを提供します。
- Q. **将来新しいテクノロジーのリリース後、Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントで無線をアップグレードするための手順を教えてください。**
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズは、モジュラ型のアップグレード可能なアクセス ポイント プラットフォームとして設計されました。新しい無線モジュールがリリースされた場合、古い無線モジュールを簡単に取り外して現場で交換できます。

Cisco Aironet 1250 シリーズに関する詳細な質問







- Q. **Cisco Aironet 1250 シリーズの電力供給オプションは何ですか。Cisco Aironet 1250 シリーズは 802.3af に準拠していますか。**
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、Cisco Aironet パワー インジェクタ (AIR-PWRINJ4) を使用してリモートで電力を供給するか、電源装置 (AIR-PWR-SPLY1) を使用してローカルで電力を供給できます。シングル無線のみで展開した場合、Cisco Aironet 1250 シリーズは、802.3af Power over Ethernet (PoE) (最大 12.95 W) を使用してイーサネット スイッチから電力を供給することもできます。
- Q. **Cisco Aironet 1250 シリーズは、DC 入力 (つまり外部 AC 電源) と PoE の両方を使用して電力を供給できますか。両方を使用した場合、負荷は共有されますか。または、一方だけですか。**
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、PoE または DC 入力によって電力を供給できます。(802.3af または高パワー インジェクタを使用して) PoE で Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントを起動した場合、PoE が電源になります。Cisco Aironet 1250 シリーズを DC 電源に接続した場合、アクセス ポイントはリセットされ、ユニットは DC ジャックから実行されます。また、802.3af 検出は行われないため、イーサネット ポートには電力は供給されません。
- Q. **PowerDsine など、サードパーティ製 PoE ミッドスパン装置は、Cisco Aironet 1250 シリーズに十分に電力を供給できますか。**
- A. PowerDsine などのサードパーティ製 PoE ミッドスパン装置との相互運用性テストは行っていません。
- Q. **Cisco Aironet 1250 シリーズで使用できるアンテナ オプションは何ですか。**
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ向けにいくつかの新しいアンテナが設計されました。MIMO テクノロジーを使用して 2.4 GHz および 5 GHz の IEEE 802.11n 無線モジュールをサポートするために、2.4 GHz および 5 GHz の新しい天井全方向性アンテナが開発されました。各エンクロージャには、単一の白いフラッシュ マウント エンクロージャ内に 3 つのアンテナ エレメントがあり、吊り天井のオフィス環境にマウントするのに適した見た目の美しいオプションが用意されています。Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの協調的な色に合わせて、2.4 GHz および 5 GHz の新しいストレート型ダイポール アンテナをグレーで使用することもできます。表 1 に、Cisco Aironet 1250 シリーズでの使用を認定されているアンテナの最新の—



覧を示します。この表に記載されていない高ゲイン、全方向性、ナロービーム指向性、ダイバーシティ、および非ダイバーシティといったアンテナは、現時点で Cisco Aironet 1250 シリーズには使用できない可能性があります。Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントは、Cisco Aironet アンテナを使用した場合の運用が認定されています。

規制に確実に準拠するために、Cisco 1250 シリーズ アクセス ポイントには Cisco Aironet アンテナを使用してください。アンテナ オプションの詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/jp/product/hs/wireless/airoa>

表 1 2.4 GHz および 5 GHz の非接続型ダイポール アンテナ

	製品番号	説明
	AIR-ANT2430V-R=	2.4 GHz 3 dBi トリプル全方向性アンテナ 3 RP-TNC
	AIR-ANT5140V-R=	5 GHz 4 dBi トリプル全方向性アンテナ 3 RP-TNC
	AIR-ANT2422DG-R	2.4 GHz 2.2 dBi ストレート型ダイポール アンテナ RP-TNC (グレー)
	AIR-ANT5135DG-R	5 GHz 3.5 dBi ストレート型ダイポール アンテナ RP-TNC (グレー)
	AIR-ANT2422DB-R	2.4 GHz 2.2 dBi ダイポール アンテナ RP-TNC (ブラック)
	AIR-ANT5135DB-R	5 GHz 3.5 dBi ダイポール アンテナ RP-TNC (ブラック)

	製品番号	説明
	AIR-ANT2422DW-R	2.4 GHz 2.2 dBi ダイポール アンテナ RP-TNC(ホワイト)
	AIR-ANT5135DW-R	5 GHz 3.5 dBi ダイポール アンテナ RP-TNC(ホワイト)

- Q. シスコから接続型ダイポールをすでに購入しています。これらのアンテナは Cisco Aironet 1250 シリーズでも使用できますか。
- A. はい。これらのアンテナも引き続きサポートされます。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズは UL 2043 プレナム定格ですか。
- A. はい。UL 2043 は Underwriters Laboratories (UL) が定めた標準です。米国では、ほとんどの地方自治体の建築基準法で、建物に使用される機器に特定の UL 認証が必要とされています。通常、地方自治体は、プレナム空間で使用する機器に UL 2043 認証を指定しています。また、プレナム空間についても定義されています。地方自治体によって、プレナム空間に含まれるのは吊り天井の上の部分だけの場合もあれば、吊り天井の下の部分もプレナム空間とみなされる場合もあります。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズと互換性があるクライアント デバイスは何ですか。
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズは、802.11n、802.11a、802.11b、または 802.11g Wi-Fi 認定クライアントと相互運用可能です。シスコでは幅広いテストを行い、Intel やその他の主要なシリコン ベンダーなど、主要なメーカー製のエンタープライズクラスの 802.11n クライアントとの相互運用性も確認しています。また、Intel の Connect with Centrino 互換性テスト プログラムも実行し、高いパフォーマンスおよび次世代 802.11n ソリューションとの完全な相互運用性も確認しています。さらに、シスコ クライアントとサードパーティ製の Cisco Compatible Extensions クライアントは、Cisco Unified Wireless Network ソリューションが提供する高度なワイヤレス セキュリティおよびモビリティ機能を活用しています。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズは、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921 をサポートしていますか。
- A. はい。Cisco Unified Wireless IP Phone 7921 は Wi-Fi に準拠し、Cisco Aironet 1250 シリーズなど、Wi-Fi に準拠したアクセス ポイントと相互運用できます。802.11n 標準により、802.11a/b/g デバイスとの下位互換性が保証されます。

- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズは、アクセス ポイント機能以外にブリッジングおよびバックホール機能もサポートしていますか。
- A. はい。Cisco Aironet 1250 シリーズは、スタンドアロン (Autonomous) モードで動作する場合、リンク ロールの柔軟性をサポートし、各無線をアクセス ポイント、リピータ、ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、またはワークグループ ブリッジとして設定することで、アクセス ポイントとブリッジの両方の機能を提供します (表 2)。この設定の柔軟性により、Cisco Aironet 1250 シリーズは、基本的なワイヤレス LAN カバレッジ、ワイヤレス バックホールを持つワイヤレス LAN カバレッジ、および従来のブリッジング アプリケーションなどのアプリケーションに対応できます。

表 2 Cisco Aironet 1250 シリーズの展開オプションの概要

無線 1 (2.4 または 5 GHz)	無線 2 (2.4 または 5 GHz)	RJ45 の状態
ルート ブリッジ	ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、アクセス ポイント、またはワークグループ ブリッジ	アップリンク
非ルート ブリッジ	ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、アクセス ポイント、またはワークグループ ブリッジ	アップリンク
ワークグループ ブリッジ	ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、またはアクセス ポイント	アップリンク
アクセス ポイント	ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、アクセス ポイント、またはワークグループ ブリッジ	アップリンク
リピータ	ルート ブリッジ、非ルート ブリッジ、またはアクセス ポイント	ダウンリンク

- Q. Aironet 1250 シリーズは、UNII-2 および UNII-2 拡張帯域内のチャンネルにアクセスするために、Dynamic Frequency Selection (DFS; 動的周波数選択) をサポートしていますか。
- A. はい。Cisco Aironet 1250 シリーズは非常に安定した DFS アルゴリズムをサポートしており、米国、ヨーロッパなどの世界中の国々で、UNII-2 および UNII-2 拡張帯域を効率的に利用できます。802.11n 展開の場合には、これは特に重要です。802.11n 展開では、追加チャンネルを利用してより多くの 40 MHz ワイド チャンネルをサポートできます。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの発注方法を教えてください。
- A. 発注方法の詳細については、『Cisco Aironet 1250 シリーズ発注ガイド』を参照してください。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズで使用できるアクセサリは何ですか。
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ用に発注できる追加のアクセサリは、次のとおりです。
- 2.4 GHz および 5 GHz のアンテナ
 - Cisco Aironet パワー インジェクタ (AIR-PWRINJ4)
 - Cisco Aironet 電源装置 (AIR-PWR-SPLY1)
 - コンソール ケーブル (AIR-CONCAB1200)
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズは、どの国で使用できますか。
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズは、2.4 GHz と 5 GHz の両方の周波数帯で動作し、世界中の多くの国で使用できます。お住まいの国で Cisco Aironet 1250 シリーズを使用できるかどうかを確認するには、次の URL を参照してください。
- http://www.cisco.com/application/pdf/en/us/guest/products/ps5861/c1650/cdcont_0900_aecd80537b6a.pdf

Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントの保証は、どのようになっていますか。

A. Cisco Aironet 1250 シリーズ アクセス ポイントには、ハードウェアおよびソフトウェアの 90 日間限定保証が付いています。詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/prod_warranties_item09186a00800e79ab.html

Q. お客様が、Cisco Aironet 1250 シリーズの保証が Cisco Aironet 1130 および 1240AG シリーズよりも短い理由を尋ねた場合、どのように答えればいいですか。

A. 説明すべき主要な点が 3 つあります。

- シスコでは、新しい製品シリーズのための適切な保証を評価しています。Cisco Aironet 1130 および 1240AG シリーズなどの既存の製品シリーズは、現在の保証を維持します。
- 保証はサポート サービスに代わるものではありません。
- ワイヤレス ソフトウェアの価値を高め、Cisco Aironet 1250 シリーズのフィーチャ セットを強化するには、シスコのサービスが組み込まれたサポート モデルが必要です。

保証の評価: Cisco Aironet 1130 および 1240AG シリーズと Cisco Aironet 1250 シリーズの保証の違いを理解するには、Cisco Aironet 1250 シリーズの差別化された機能に注目してください。Cisco Aironet 1130 および 1240AG シリーズの保証は変更されていません。新しい製品シリーズがリリースされると、製品と用途に適した保証が常に評価されます。

保証の役割: 保証の真の目的について理解し期待することも重要です。保証は製造時の欠陥を修正するためのものであり、デバイスやシステムの適切な操作に関連する問題ではありません。堅牢な品質保証プロセスで発見されなかった製造時の欠陥を見つけるためのお客様のバーンイン時間は、90 日で十分です。

シスコのサービスの役割: 最後に保証期間から離れて、シスコのサービスが、お客様がネットワーク投資から十分な価値を得るためにさまざまな手段を提供していることに目を向ける必要があります。これは、Cisco Aironet 1250 シリーズの場合には特に当てはまります。シスコでは、お客様が Cisco Aironet 1250 シリーズを利用する環境が、ますますビジネスクリティカルになると予想しています。ネットワーク テクノロジーの導入方法は変化しており、シスコのサポート モデルも同様に变化する必要があります。ビジネスクリティカルな環境では、保証への依存は一般的または賢明なビジネス手法とは言えません。シスコのお客様の購入対象が、個別製品からアーキテクチャへ移行するにつれて、ソフトウェアの役割も変化してきました。ソフトウェアはネットワーク経由でますます多くのサービスを提供しており、ソフトウェア投資を保護するために要求されるサポートのレベルも高くなっています。サービス展開の方法は、新しいニーズへ柔軟に対応し拡張できるように、計画および設計する必要があります。こういったシステム全体のアプローチには、お客様がシスコの専門家と密接に協力する必要があります。保証のサポートは、そのような契約を提供するものではありません。

802.11n

Q. 802.11n とは何ですか。

A. 802.11n は、802.11a/g のネットワーク パフォーマンスを約 5 倍向上させるために開発された IEEE 標準です。802.11n は MIMO テクノロジーを使用して、マルチパス伝播の効果を最適化することで、ワイヤレス ネットワークの信頼性と予測性を向上させます。この標準は 2.4 GHz と 5 GHz の両方の周波数で動作し、既存の 802.11a/b/g ネットワークと下位互換性があります。Wi-Fi Alliance は、標準に従った 802.11n 製品の認定を開始しました。この認定により、アクセス ポイントとデバイス間の相互運用性が保証されます。なお、IEEE (米国電気電子学会) による最終的な批准は、2009年9月11日に完了致しております。

- Q. **Multiple-Input Multiple-Output (MIMO)テクノロジーとは何ですか。**
- A. Multiple-Input Multiple-Output (MIMO)テクノロジーは、複数のアンテナとともに高度な信号処理を使用して、ワイヤレス LAN のスループット、信頼性、および予測性を向上させます。MIMO ベースのアクセス ポイントは、複数のトランスミッタおよびレシーバーで動作することで、マルチパス伝播の効果を利用して、パケットの再試行を少なくし、ワイヤレス ネットワークの信頼性を向上させることができます。MIMO テクノロジーの利点は、ネットワークの信頼性と予測性の向上という形で、802.11n 以外のクライアントにも拡張されます。一貫したスループットと信頼性の向上により、高帯域幅のデータ、音声、およびビデオ アプリケーションでエンド ユーザ エクスペリエンスが改善されます。
- Q. **クライアントのデータ レートが 802.11 標準によって固定されている場合、802.11a/b/g および 802.11n クライアントの一般的なスループットを MIMO によってどのように向上させるのですか。**
- A. MIMO スマート アンテナ テクノロジーを装備したアクセス ポイントとクライアントは、標準のダイバーシティ アンテナを装備した場合に比べて、より長距離で確実に信号を受信できます。つまり、802.11 データ レートは、標準のダイバーシティ アクセス ポイントよりも MIMO を使用するアクセス ポイントの方が高くなります。たとえば、標準のダイバーシティを使用するアクセス ポイントから特定の距離で動作するクライアントでは、データ レートは 36 Mbps になり、MIMO を使用するアクセス ポイントに接続した場合は、54 Mbps のデータ レートが維持されます。
- Q. **802.11a/b/g への投資はどうなりますか。**
- A. 802.11a と 802.11g はそれぞれ 54 Mbps のデータ レートを提供し、音声やビデオなど幅広いアプリケーションをサポートしています。これらの周波数、特に 5 GHz 帯域は十分に活用されておらず、802.11b、802.11g、および 802.11a クライアントの大規模な導入ベースになっているため、ほとんどの企業は、ビジネスクラスの 802.11a/b/g アクセス ポイントへの投資は何年も有効であると想定することができます。また、802.11n 標準には、既存の 802.11a/b/g インフラストラクチャとの下位互換性が必要です。シスコでは、802.11a/b/g テクノロジーと 802.11n テクノロジーは長期にわたって共存すると予想しています。
- Q. **Distributed Antenna Systems (DAS) は 802.11n で動作しますか。**
- A. MIMO テクノロジーは複数のトランスミッタと複数のレシーバーに大幅に依存して、802.11n のスループット、信頼性、および予測性の利点を実現しています。現在の DAS システムは、アクセス ポイントごとに 1 つの送信/受信チェーンのみをサポートします。したがって、DAS と組み合わせて使用した場合、802.11n のスループット、信頼性、および予測性の利点の多くは失われます。
- Q. **3x3 と 2x3 の実装では、パフォーマンス上の優位性はどの程度違いますか。**
- A. 理論的には、3x3 無線のパフォーマンスは 2x3 無線よりも若干向上する予定です。ただし、シスコで行ったテストでは、2x3 と 3x3 の実装ではパフォーマンスの大幅な違いは確認されていません。
- Q. **Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、2.4 GHz と 5 GHz の両方の帯域で 40 MHz チャンネル幅をサポートしますか。**
- A. はい。40 MHz チャンネル幅は 2.4 GHz 帯域でもサポートされますが、使用可能なスペクトルの量が制限されているため、シスコではこの帯域の使用を推奨していません。帯域全体でサポートされるのは、1 つの非オーバーラップ 40 MHz チャンネルのみです。5 GHz 帯域の方が、40 MHz チャンネル幅の使用に適しています。

- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、どの 802.11n パケット集約モードをサポートしていますか。
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、A-MPDU と A-MSDU の両方のパケット集約モードをサポートしています。これらのモードは、送信と受信の両方でサポートされます。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、802.11n レガシー ビーム生成をサポートする予定ですか。
- A. はい。Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュール ハードウェアは、レガシー ビーム生成をサポートしています。レガシー ビーム生成は開ループ メカニズムを使用して、クライアントの方向にビームを生成するために必要な係数を判断します。この機能は、将来のソフトウェア リリースで有効になる予定です。
- Q. Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、802.11n の新しいモードをサポートする予定ですか。
- A. Cisco Aironet 1250 シリーズ IEEE 802.11n 無線モジュールは、新しいモードをサポートする予定はありません。新しいモードでは、混在モード(通常のパケット混在を想定)に比べてパフォーマンスが約 3% 向上します。新しいモードが実際に使用されるさまざまな環境を考えると、これはパフォーマンスの向上としては非常に低い値です。さらに、DFS が必要な 5 GHz チャンネルで実行した場合、アクセス ポイントは DFS ロジックを呼び出す傾向があり、これによりフィールドに多数の問題が発生する可能性があります。新しいモードは、将来の Cisco Aironet 1250 シリーズ無線モジュールでサポートされる可能性があります。
- Q. 現在使用している WLAN コントローラは、Cisco Aironet 1250 シリーズをサポートする予定ですか。
- A. 現在出荷されている WLAN コントローラはすべて、Cisco Aironet 1250 シリーズをサポートしています。次のコントローラがあります。
- Cisco ISR サービス統合型ルータ用 Cisco Wireless LAN Controller Module
 - Cisco 2100 シリーズ Wireless LAN Controller
 - Cisco Catalyst 3750G Integrated Wireless LAN Controller
 - Cisco 4400 シリーズ Wireless LAN Controller
 - Cisco Catalyst 6500 シリーズ Wireless Services Module

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先